

平成30年度

萌える天北オロロンルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2019/4/24
---------------------	--------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30				総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		活動状況資料番号
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	風景との出会いの演出	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-		<p>景観形成についての総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度で5回目となった道北ルートで連携フォトコンテストは、天塩川シーニックバイウェイも新たに加わり、「道北ルート連携フォトコンテスト」として開催した。過去のフォトコン作品で制作したパネルの活用なども徐々に生まれている。数多くのすばらしい景観素材を収集することができるのと同時に、他のルートのよさを知る機会にもなっている。課題として、フォトコン作品の活用や資金調達などがあり、作品活用については、冊子の作成に向けて検討中である。 ・ルート内のシーニックカフェでは、これまで道の駅スタンプラリーでの連携等を実施してきたが、ルート活動との連携や意識醸成に課題があったことから、今年度は、カフェとルート活動との連携を重視した意見交換を実施した。カフェを地域情報の発信拠点としていく連携を模索している。 ・秀逸な道や船場公園周辺で、清掃・除草活動を実施した。今年度は、試行的な取り組みであったので、次年度も継続して活動し、徐々に活動の輪を広げていく予定である。
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-		
			シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成30年7月2日～9月14日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数26人・応募作品数131作品	A - 3	
			景観診断プロジェクト	-	-	-		
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-		
			るもい地域の観光・まちづくりの未来を語る勉強会(6.18石田先生PJ)	-	-	-		
			日本道路会議(ルート副代表がパネリストとして参加)	-	-	-		
			風景街道テーマ別意見交換会(風景街道の意見交換会に参加)	-	-	-		
			シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	8人		
			船場公園での除草・物販・啓発活動(道路協力団体)	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成30年10月31日	10人(主催者側)	A - 1	
		秀逸な道清掃プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	平成30年6月6日	6人(主催者側)	A - 2		
		花とみどりの景観づくり	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-		
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-		
愛着と誇りの醸成	景観診断プロジェクト	-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2019/4/24	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
食	自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信	地場製品の魅力づけ	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	食についての総括 ・今年度は、ルートの体制についての見直しを実施し、活動団体や活動体制にも変化があった。これまで、食のテーマで活動を行っていた取り組みは、見直しに伴い、今年度は実施しなかった。 ・今後は、活動のテーマ自体も含めて、方向性を検討していく予定である。
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
		新メニューの企画	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
		地域ブランドの構築	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	
			ワークショップの開催	-	-	-	-	
			チカホでのシーニックPRイベントにて地域特産物の販売実施	-	-	-	-	
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
			情報受発信プロジェクト ⑤ ～萌か留た～	-	-	-	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2019/4/24		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括		
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号			
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	クリーンエネルギーのイメージづくり	菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロ ジェクト	-	-	-		環境保全についての総括 ・萌える天北の取組みについては、 活動を中止し、シーニックの森とし ての登録を解除した。 ・今まで取組みのなかったゴミ対策 として、清掃活動や除草などの活 動を実施した。また、道路協力団 体として、沿道での物販活動を行 うとともに、コミュニティラジオを 活用した啓発活動も実施した。今後 は、活動の時期や内容について再 検討しながら、次年度も活動を展 開する予定である。	
			フォーラム開催プロ ジェクト	-	-	-			
			風景街道サミットinあ さま (ルート代表がパネル ディスカッションに参加)	-	-	-			
			萌える天北の森プロジェクト	-	-	-			
	身近な生態系の保全・復元	ゴミ対策の取り組み	船場公園での除草・物 販・啓発活動(道路協 力団体)	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議	平成30年10月31日	10人(主催 者側)	A - 1		
			秀逸な道清掃プロ ジェクト	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議	平成30年6月6日	6人(主催 者側)	A - 2		
		エゾカンゾウ植栽プロ ジェクト	-	-	-	-			
			萌える天北の森プロジェクト	-	-	-			
			天塩イトウシンポジウ ム(共催)	-	-	-			
			天塩川でつなぐ・ひろが るプロジェクト	-	-	-			
			景観診断プロジェクト	-	-	-	-		
				フォーラム開催プロ ジェクト	-	-	-		
ロングドライブのサポート	風景街道サミットinあ さま (ルート代表がパネル ディスカッションに参加)	萌える天北の森プロジェクト	-	-	-				
		情報受発信プロジェクト ⑤ ～萌か留た～	-	-	-				
		シーニックカフェの登録・カ フェ連携	萌える天北オロロン ルート運営代表者会議	通年	8人	A - 4			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2019/4/24	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	身近なアウトドアの紹介	サイクリングイベントの周知協力活動	-	-	-	レクリエーションについての総括 ・ルートの体制についての見直しを実施し、活動団体や活動体制にも変化があった。 ・レクリエーションの活動については、シーニックカフェとの連携による情報発信の展開を、現在、模索中である。 ・天塩かわまちづくり協議会が主催で実施したエコツーリズムセミナーに共催として参画し、活動団体のメンバーが参加することで、地域資源の活用方法について、学ぶ機会を持てた。	
		各種カルチャー活動による交流	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-		
	流雪溝雪はねボランティア ツアーin苫前		-	-	-			
	エゾカンゾウ植栽プロジェクト		-	-	-			
	菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト		-	-	-			
	よりみちの駅イベントでのシーニックPRイベント		-	-	-			
	エコ・ツーリズムセミナー	天塩かわまちづくり協議会	平成30年12月6日	29人				
歴史・文化	先代の暮らしぶりと新たな価値観を将来に伝え楽しむ	歴史資源の保全と活用	ワークショップの開催	-	-	-	歴史・文化についての総括 ・歴史・文化に関する活動としては、フォトコン作品の展示を実施した。留萌地域での暮らしぶりについて、写真を通して伝えることができた。 ・歴史・文化を主眼とした取組み自体は実施していないが、今後、他の活動の拡大などを通して実施できればと考えている。	
			情報発信プロジェクト ⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
		次世代への歴史伝承	-	-	-	-		
	独自の生活文化の発見	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-	-		
		送り火フォトコンテストの開催	-	-	-	-		
		シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成30年7月2日～9月14日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数26人・応募作品数131作品			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2019/4/24	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30				
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号
全体	上記内容全体の方針に関わる活動	情報受発信プロジェクト① ～冊子:Eezo～	-	-	-	-	地域づくりについての総括 ・情報発信についても、体制の見直しとともに、活動に変更があった。ルートのホームページを閉鎖し、新たに、Facebookを立ち上げて情報発信を進めている。 ・今年度は、ルートの体制変更により、活動団体や活動内容にも大きな変化があった。今後は、道をきっかけとした活動の展開など、進め方についても協議しながら、ルートの10年目を迎える第2ステージを形成していきたいと考えている。
		情報受発信プロジェクト② ～オロロンマップの活用～オロロンさんぼみ	-	-	-	-	
		情報受発信プロジェクト③ ～道の駅・シーニックカフェスタンプラリー～	-	-	-	-	
		情報受発信プロジェクト④ ～オロロンドライブ情報	-	-	-	-	
		情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-	-	
		情報受発信プロジェクト⑥ ～留萌管内観光アンケート～	-	-	-	-	
		ルートFacebookの運用	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	-	-	
その他		フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-	-	

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：秀逸な道清掃プロジェクト

【概要】 ルート内の秀逸な道として試行指定された国道232号沿いで、試行的に清掃活動を実施した。活動の実施により、普段、意識していなかった景観への認識の醸成や、沿道のゴミに海産物が多く混ざっていることなど、新しい気づきがあった。次年度も継続的に活動を展開する予定である。

【日時】 平成30年6月6日 10:00～15:00

【場所】 国道232号沿い（秀逸な道区間）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部

【参加人数】 活動従事者：6名



清掃活動の様子



清掃後の集合写真

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：船場公園での除草・物販・啓発活動（道路協力団体）

【概要】 るしんふれ愛パーク（船場公園：留萌市）手前の国道沿いで、道路協力団体として、施設手前の植樹樹の除草活動、地域特産品や農産品の販売活動（一部、悪天候により、公園管理棟内で実施）、地元FMラジオを通じたルート活動の紹介等の啓発活動を実施した。活動の状況について、道路協力団体の意見交換会（開催地：東京）に参加し、活動報告を行うとともに、全国の活動団体との交流を行った。

【日時】 平成30年10月31日 10:00～15:00

【場所】 国道231号沿い（留萌市船場公園前）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 活動従事者：10名



除草活動の様子



物販の様子
（悪天候により、部分的に管理棟内で実施）



るしんふれ愛パーク管理棟内において
地元FMラジオを通じてルート活動や道路
事業の普及啓発活動をしている様子

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイと、今年度から新たに参加した天塩川シーニックバイウェイの、道北4ルートによるルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で5年目の開催であり、多様な作品が集まっており、パネル展示を実施している他、作品の活用方法についても検討している。

【応募期間】平成30年7月2日～9月14日

【主催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



平成30年度 萌える天北オロロンルート賞
【北へ進路を取れ】



平成31年度の募集チラシ



パネル展示の様子
(左：道の駅おびら鯉番屋、右：道の駅ほっと・はぼろ)



平成30年度 入選作品(萌天内)



審査会の様子(2018.10.5)

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが設置されており、ルート活動との連携の模索や、レアな地域情報の発信拠点としての展開について、検討を進めている。

【登録数】シーニックカフェ9カ所（平成31年3月現在）

<登録先カフェ>

- ・喫茶ポルク（増毛町）
- ・千望台レストハウス（留萌市）
- ・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市）
- ・からくれ（小平町）
- ・ラウンジWindmill（道の駅風Wとままえ内：苫前町）
- ・TIARA（羽幌町）
- ・レストラン北極星（初山別村）
- ・道の駅富士見レストランとんがりかん（遠別町）
- ・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



カフェのPOP
(てしお温泉夕映内)



シーニックカフェの紹介ボード

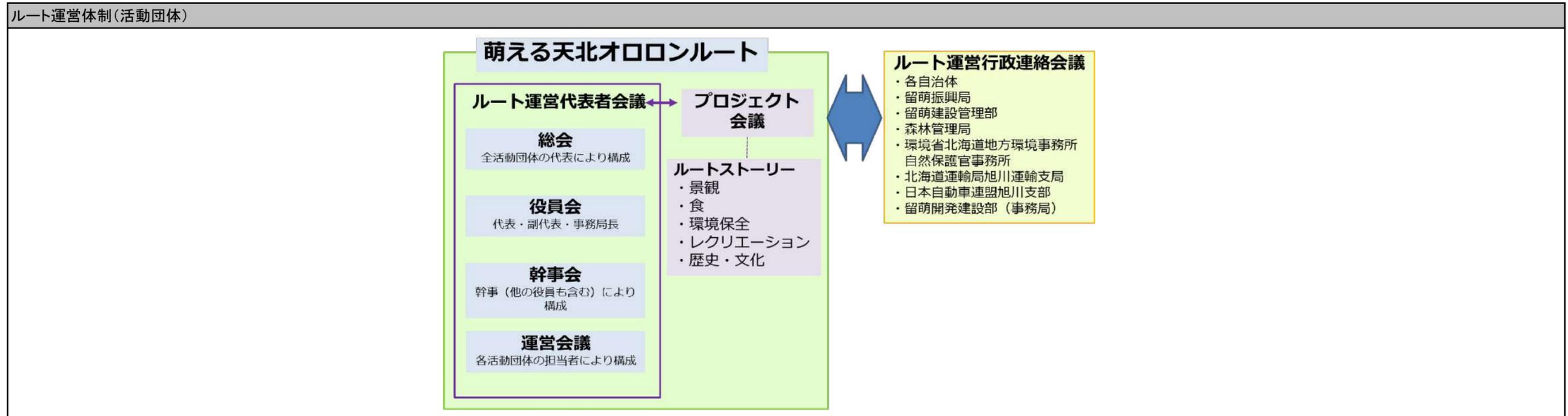


カフェメンバーとの打合せの様子

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 萌える天北オロロンルート 代表 西 大志	報告年月: 2019/4/24
---------------------	---------------------------	-----------------

活動団体
増毛町観光協会、豊かな森川海人をつくる増毛実行委員会、一般社団法人留萌青年会議所、NPO法人留萌観光協会、小平町観光協会連合会、小平町商工会、NPO法人天塩川を清流にする会、萌天サポーターズクラブ、苫前町まちづくり企画、桜並木を作る会、一般社団法人マッチワークス 全11団体



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(総会)	● 4/17臨時		● 6/12	● 7/30臨時									このほか、事務局打合せを適宜実施。
役員会		● 5/14	● 6/6	● 7/18					● 12/10			● 3/26	
幹事会	● 4/24			● 7/30					● 12/27				
運営会議					● 8/16		● 10/17		● 12/27			● 3/1	
その他会議等					● 8/22-23 ルート視察		● 10/5 ブロック会議 (利尻) ● 10/31 活動打合			● 1/29 連携フォトコ ン会議(札 幌)			

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2019/4/24
---------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施													会議体としての実施はせず、各自治体を個別訪問し、制度や取り組みを説明。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2019/4/24
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	「道北ルート連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	平成30年5月20日 平成30年8月16日 ～10月末、 平成30年12月26日 ～平成31年1月末	留萌開発建設部、小平町、苫前町、羽幌町、留萌市	「3ルート連携フォトコンテスト」応募作品の巡回パネル展をおびら鯨番屋祭り(小平町)、道の駅おびら鯨番屋、苫前町公民館、道の駅ほつとはぼろ、るしんふれ愛パークにて開催し、広報活動に協力した。今後も、継続してルートの活動を広く周知することが必要。	地域景観の紹介や地域景観づくりの継続した取り組みが定着している。 今後も、効果的なPRや、取り組みを地域全体に展開できる体制作りを進めたい。	
		「道北ルート連携フォトコンテスト」の開催 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	通年	留萌開発建設部	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト2018の開催にあたり、会議・審査会への参加及びフォトコンテストの活動周知に協力した。今年度から新たに天塩川シーニックバイウェイが参画し、道北ルートでの連携フォトコンテストとしての広がりを見せており、作品の活用やフォトコンテスト開催に関する周知が必要。		
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	秀逸な道清掃プロジェクトでの清掃活動	平成30年6月6日	留萌開発建設部	秀逸な道区間での清掃活動を通して、沿道のゴミの実態を知り、美化への認識が深まった。今後も継続した取り組みが必要であり、活動の定着が必要。	近年、途絶えていた清掃活動の実施を通して、沿道の美化への認識を深めることができた。今後も継続的、発展的に実施できるように、協力したい。	
		船場公園での除草・物販・啓発活動	平成30年10月31日	留萌開発建設部	道路協力団体として、除草・物販・啓発活動を実施した。活動時期を早めに設定するとともに、継続した活動が必要。		
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	シーニックカフェ連携プロジェクト	通年	留萌開発建設部	ルート内のシーニックカフェとルートの活動団体との連携のため、個別のミーティング等を開催し、協議を進めた。活動を通して、ルート全体の魅力向上につなげるための仕組みづくりと意識共有が課題。	シーニックカフェとの連携を通して、地域資源の磨き上げやより道スポットを紹介し、滞在型観光を後押しするとともに、セミナーの開催等を通して、地域内の人材育成も強化し、交流人口の拡大、観光振興を深めたい。	
		エコ・ツーリズムセミナー 主催:天塩かわまちづくり協議会	平成30年12月6日	天塩町、留萌開発建設部	天塩かわまちづくり協議会主催(萌える天北オロロンルート共催)のエコ・ツーリズムセミナーの開催に際し、セミナー開催の周知に協力した。セミナー開催を通して、地域資源の活用方法について学ぶ機会を得た。		
全体	景観、食、環境保全、レクリエーション、歴史・文化全体の方針に関わる活動	萌える天北オロロンルートFacebookページのリンク	通年	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町、留萌開発建設部	ルートの認知度向上を目的として、ルートのFacebookページと留萌開発建設部及び各自治体のホームページをリンクして連携した広報活動を行った。	まちづくり、地域づくりをテーマとしたルートの様々な活動は、継続した取り組みにより地域内外に浸透している。 今後も、Facebook等のツールを有効に活用し、ルート活動や地域資源のPR活動を進めたい。	

※表中“★”は、H30新規に実施した活動